

宮崎日日新聞 (2018年5月8日付) 22面に掲載されました。

4月30日に本校大坪記念ホールにて行われました、台湾・新竹縣の中学生と市内中学校・高等学校4校との合同演奏会の記事が掲載されました。

台湾中学生と音楽で友好
市内4中高が合同演奏会

県と相互交流を目的とした協定を昨年結んだ台湾・新竹縣の中学生70人と、県内の中、高校4校の吹奏楽部の生徒による交流演奏会が4月30日、宮崎市の宮崎学園高であり、音楽を通して友好を深めた。

交流演奏会は、同市で開かれた「みやざき国際ストリート音楽祭」に台湾の生徒が出演するため来県し、実現。本県から宮崎中、日向学院中、高校、宮崎学園高の生徒が出演した。学校ごとにステージに上がり、息の合った演奏を披露。続いて、台湾・自強中の60人が日本のアイドルグループの曲などを演奏し、峨眉中の10人は台湾の郷土芸能を発表した。最後に、自強中と4校の吹奏楽部全員で「フェ

ニックスハネムーン」などを奏で、来場者を楽しませた。

演奏会後には本県と台湾の生徒たちが演奏する楽器ごとに分かれ、互いに自己紹介をするなど交流を深めていた。自強中2年の彭熙榆さん(14)は「(演奏中の)動きを見れば思いは通じたし、言葉の壁は関係ないと感じた」。宮崎学園高吹奏楽部部长を務める3年の福山智香さん(17)は「一緒に演奏を楽しめた。音楽に国境はないと感じた」と話していた。

(岩永寛宏)

を台生の色との音楽部
た本県の吹奏楽部
合吹奏楽部
の吹奏楽部
息のか吹奏楽部
響の吹奏楽部
灣の吹奏楽部
徒の吹奏楽部



「宮崎日日新聞社 提供」